

神戸市会議員



岡田ゆうじ



2023年9月29日 神戸市会

## 自由民主党神戸市会議員団市政報告

# 2023.10 No.49 銀座通りの規制変更

現在神戸市では、「垂水活性化プラン～生まれ変わる海辺のまち～」と銘打ち、垂水駅前のリノベーション（再開発）事業を進めています。廉売市場跡地を地上 30 階建て高層ビルに建て替える他、新垂水図書館や立体駐輪場の整備などが進められています。

それに伴い、銀座通りの交通規制を変更し、現在時間帯通行及び北進への一方通行規制がなされているところを、時間帯通行規制を解除し、南進への一方通行へと規制を変更する案が、神戸市当局から示されました。

しかし、この銀座通りは垂水駅前のにぎわいを形成する重要な遊歩道的道路であり、日中に車両が通行するには許可証が必要です。垂水駅前の周遊性を確保する上でも、現在の通行規制の維持は、特に東口駅前の店舗事業者にとって、死活的な重要性を持っています。

そこで署名活動が周辺住民・事業者ら関係者の中から起こり、358筆集められ、去る7月11日、垂水警察署長、並びに神戸市都市局に対し、それぞれ提出・直談判が行われました。

その後、9月29日の神戸市会決算特別委員会の場で、岡田ゆうじ議員より改めて「銀座通りの交通規制の変更」案について質疑が行われ、当局からは交通規制の変更を断念をする意向が示されました。

引き続き、私達のまち垂水の玄関口＝垂水駅前のにぎわい創出、安全・安心確保に向けて、区民の皆様と共に進めて参ります。



神戸市が一方通行の向きを変える提案をした「銀座通り」



## 垂水駅前交通規制変更

○委員 (岡田ゆうじ) 駅を中心とした街のリノベーション、特に垂水駅前再開発についてお伺いします。

垂水駅周辺のリノベーションについて、住民説明会等で、JR 垂水駅の東口から北側に延びる銀座通りを、南向き一方通行に変更しようとする説明がありました。本年2月27日の予算特別委員会においても、当局より「銀座通りを南行き一方通行に変更し、併せて歩行者専用規制を解除しよう」と、現在、地元調整を進めている」との答弁がありました。

住民からは「南行き一方通行への変更」、「歩行者専用規制を解除」の2点の交通規制変更について、反対の署名活動が起こって、垂水商店街振興会組合、レバンテの住民自治会、そして平磯自治会等から、350筆を超える署名が集まって、垂水警察署長、並びに市長に対して提出がされたところであり、私も同行させていただきました。

改めてお伺いをいたしますが、こうした多くの署名が集まって住民の方から反対の明確な意思が示された、銀座通りを南行き一方通行に変更し、合わせて歩行者専用規制を解除する案について、今後どうなるのか改めてお伺いいたします。



岡田ゆうじ

○山本都市局長 委員御指摘のとおり、令和5年7月11日に要望書を受け取らせていただきました。我々といたしましてはこのことを重く受け止めまして、要望を受けました後、垂水警察署と協議を行い、警察からの「銀座通り沿道の住民・商業者から交通規制変更しないよう要望を出されている状況では、規制変更することは難しい」という意見も踏まえまして、道路管理者である建設局とも協議した結果、銀座通りにおける交通規制変更の提案は取り下げることとしたいと考えております。

今後は、まず、沿道地域の方々の意見を丁寧に聞きながら、引き続き、どのような交通対策が地域として必要かについて、しっかりと検討していきたいと考えております。こういうお考えでございます。以上です。

○委員 (岡田ゆうじ) よろしくお伺いいたします

同じく、その説明の中で合わせて説明された、それ以外の交通規制について、例えば、銀座通りの歩道と車道の区別明確化、これは駅前を歩行者空間とする中で、相反する考え方がありますが、そのためのアスファルトを舗装するとか、垂水小南側道路を一車線化するなどの意見についても、住民は反対をしております

これは、もともと、今、明確に否定をしていただいた、銀座通り南行一方通行化、歩行者専用規制解除を前提とした案でありますから、そうじゃなかったらできないはずですから、今(交通規制の変更を)否定していただいたということは、これらの扱いもなくなるのではないかと思うんですが、これらの案、すなわち「銀座通りの歩道と車道の区別明確化」「垂水小南側道路の一車線化」についての今後の取扱いについてお伺いします。



岡田ゆうじ

○山本都市局長 ご指摘の銀座通りの歩道と車道の区別明確化や、そのためのアスファルト舗装の実施、そして垂水小学校南側道路の一車線化の対策等につきましては、何れも委員ご指摘の通り銀座通りの交通規制変更を前提としたものでございますので、同様に提案を取り下げたいと考えております。以上です

垂水の輝き・賑わいを子や孫の世代に！

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20  
TEL : 090-9259-1555 / FAX : 078-330-2335

岡田ゆうじ  
ホームページ  
mail@okadayu.ji.net  
www.okadayu.ji.net





神戸市会議員



岡田ゆうじ



自由民主党神戸市会議員団市政報告

2023.11

No.50

# 学校の目安箱

現在、子どもや保護者が学校生活で困っていること、悩んでいることなどについて相談するには、学校に直接言うしかありません。しかし**教員の不祥事や部活動における体罰など、学校や担任、校長等に相談しづらい案件**も中にはあります。現在教育委員会に対しては、月平均で6～70件ほどの相談が寄せられているとのことですが、本来の量はもっと多いことでしょう。

これまで**生徒や保護者の声**がきっかけとなって、**制度の見直しにつながったことが沢山あります**。例えば中学校の卒業式。これまでは高校入試の前に卒業式を行っていましたが、「高校入試後の落ち着いた時期に実施をしてほしい」という声が、中学校の生徒や保護者から複数寄せられ、令和4年度から中学校の卒業式の日程が公立高校の入試前から入試後へと変更されました。

「児童生徒・保護者の声を直接受け止めて、速やかに対応していく窓口が必要だ」。

岡田ゆうじ議員より本年3月1日、予算特別委員会において長田教育長に切に訴え。それを受けて**7月14日から、教育委員会に直接声が届く目安箱「お困りごとポスト」が、設置されることになりました**。

例えばいじめ、不適切な指導など、学校に相談しにくいこと、教育の制度や方針など全市的なテーマ、その他どこに相談すればよいか分からないような内容などについて、**教育委員会に直接訴えることが出来るようになりました**。全国的にも進んだ制度です。

神戸の教育が、生徒・保護者の声に更に積極的に答えていくことができるよう、子ども達が更に安心して学校生活を送ることができるよう、今後も議会の場でしっかり取り組んで参ります。



子どもや保護者の悩みには  
学校の先生には言いづらいことも…



## 教育委員会への直接通報制度について

○分科員 (岡田ゆうじ) 教育委員会のガバナンス改革の議論において、**保護者が置き去りにされている**。困った保護者がいたら、どうしたらいいのか。

ある保護者が、例えば子どもがいじめに遭っているけど、学校の先生に助けってもらえない。例えば金銭的な理由で制服が買えないけど、どこにも相談できない。

**保護者が教育委員会に直接言う機会が全くない**。学校の中だけで解決できない問題というのはあるんです、その象徴が、東須磨の問題でありました。教員の先生同士がけんかするぐらいだから。**保護者の悩みなんか、学校の中で解決できないことのほうが多いんです**。

例えば静岡県の教育委員会の場合は「教職員倫理 110 番」というのがあって、「(問題は) 学校に言わないでください」「この教職員倫理 110 番に全部通報してください」と。教育委員会が前面に立って、窓口になって、何かありませんかと、困ったことありませんかと、直接通報を受け付けています。

寝屋川市でも、「『監察課』は必ず解決します」「何か事件を言ってくれたら必ず解決します」と。大津市は(学校ではなく)市長部局に「いじめ対策室」をつくりました。学校外機関が力を入れて保護者の声を受け付けている。

**教育委員会が保護者から直接意見を受ける、これが神戸の改革で一番欠けている視点だ**と思うんですけども、いかがでしょうか。



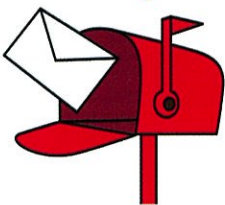
岡田ゆうじ

○長田教育長 非常に興味深い課題であるということをご認識させられる御指摘だったと感じております。

監理室、事務局の担当課も含め、今も保護者の方々から御意見や御要望を受け付ける手段というのはございまして、もちろん一定の周知はさせていただいておりますが、それでは**全く保護者に届いていないというのは御指摘のとおりだ**と思いますので、そういった保護者の方々なりから御意見を頂くに当たっての仕組み、あるいは広報・周知ということにつきましましては、**一度根本から考えさせていただきたい**というふうに思います。

長田淳  
教育長

## 実現 「お困りごとポスト」の設置



- ・学校に相談しにくいこと (いじめ、不適切指導など)
- ・教育の制度や方針についての意見・要望
- ・どこに相談すればいいかわからないこと



「お困りごとポスト」へ投稿



「お困りごとポスト」WEB版



神戸のこどもの安全・安心、笑顔を守る!

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20  
TEL: 090-9259-1555 / FAX: 078-330-2335

岡田ゆうじ  
ホームページ  
mail@okadayu.ji.net  
www.okadayu.ji.net





## R4 年度決算について、 市長等に質問しました。

▲9月21日 代表質問の様子

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております。神戸市会の山口由美です。

季節も一段と進み、あちらこちらで紅葉が見られるようになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は5期目に入って、初めての  
の大仕事である代表質問を担当しましたが、改めて元気な身体があっ  
ての活動だと実感する日々です。なんとか無事に決算議会を終えるこ  
とができてホッとしていますが、これからも自己管理をしっかりと行い、  
少しでも市民の皆様にご貢献できるように仕事に取り組みます。  
引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。



神戸市会議員

作成者

山口 由美

西区選出5期目

ご意見・  
ご感想は…

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933  
E-mail. yamaguchi@yumiguma.com





Topics 1

# 山口由美の市政への提案

## 1 要支援家庭への対策について



今年の6月の西区の児童死亡事案は、より深く福祉的な支援があればと悔やまれます。要支援家庭、特に障がいなどで自ら発信できない方には踏み込んだ対応をしていただきたいです。

関係機関とも連携し、アプローチの機会を増やすなど、切れ目のない支援につなげていきたいです。



副市長

## 9月2日に「神戸市児童虐待死亡等事例検証委員会」開催

児童虐待防止法に基づき、事実の把握、発生原因の分析を行い、必要な再発防止策を検討するために設置。

今後もしっかり注視していきます。



山口

## 2 水管橋の点検手法について

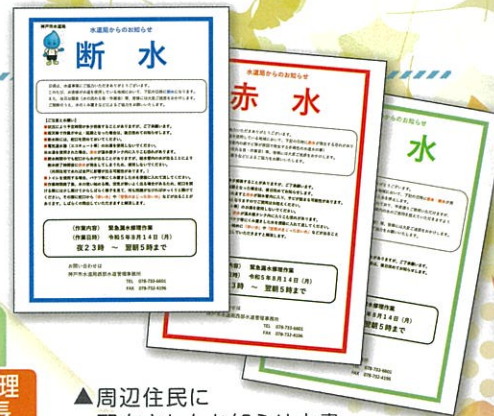


今年の8月、伊川谷小学校付近の別府大橋で水管橋の漏水が発生し、一部地域で断水・赤水が発生しました。これまでの手法に加え、非破壊検査なども視野に入れ、点検をしっかり行っていただきたいです。

現在、点検マニュアルを策定中ですが、様々な点検方法を検討していきたいです。



西部水道管理事務所長



▲周辺住民に配布されたお知らせ文書

## 別府大橋水管橋漏水の概要

場所……西区南別府4丁目  
別府大橋  
修繕完了……R5年8月15日(火)  
架設……S52年架設  
塗装更新……H9年8月



◀ ストラップクランプ

狭所のため作業時断水が必要に。

## こべっこ発達専門チームへの相談

2023年10月～開始!!

無料



こどもっと  
KOBE

発達障害への社会の理解が広がったことで、子どもの成長や発達などの相談が増えており、専門機関への相談待機期間が長くなっています。そこで、垂水区と西区にお住まいで、初めて西部療育センター診療所への相談を考えている1歳～6歳(就学前に限る)の方を対象に、こべっこ発達専門チームによる相談を、モデル的に2023年10月から開始します。

## 3 -1 世界パラ陸上競技選手権大会のレガシー



◀◀ [KOBE2024 世界パラ陸上応援スタンプラリー]の開催



山口

大会で神戸の子どもたちが生でパラアスリートの活躍を見て、障がいがあってもなくても挑戦する力「エンパワーメント」を育ててほしいです。

学校観戦会や体験型授業を通して、挑戦する力を育むとともに、障がいや多様性への理解を促進し、大会レガシーにつなげていきたいです。



市長



↑ [KOBE2024 世界パラ陸上]のPR動画

## 学校観戦会

ライブ観戦ならではの空気と感動に触れることで、人として大切な共生や挑戦を学び、同時に子どもたちの声援がパラアスリートのチカラになることを体現。

- 兵庫県内の学校 100校超(約3万人)観戦予定

## 体験型授業

パラアスリートや競技アシスタントが講師になり、彼らにしか語れない講話やパラスポーツの世界を伝える授業の実施。

- 「あすチャレ! スクール」  
あすチャレ! スクール[34回] パラレゾ[12回] (R5年度実績)

## 特別支援学校(12校)と連携した「おもてなし」

- ① 競技会場内での喫茶・お菓子の提供
- ② メッセージ手書き紙(台紙)の製作
- ③ 選手への応援メッセージ作成
- ④ 選手へのおみやげ小物の製作
- ⑤ 会場内での美術作品(絵)展示
- ⑥ 主要駅での清掃活動
- ⑦ 選手ホテルでのウェルカム演奏



## KOBE 2024 世界パラ陸上 ONEクラス応援制度

10万円~

皆様からいただいたご支援で地域の子どもたちを神戸2024世界パラ陸上に招待します。支援金は入場料や交通費などに利用いたします。



## 3 -2 障がい者雇用、就労に関する意識改革



山口

特別支援学校の子どもたちは企業への就職を目指す子も多く聞きます。運動が好きなお子にはアスリート雇用を目指すなど、特技を活かした柔軟な進路選択ができる環境を作ってほしいです。

今後の進路指導において、固定概念にとらわれずに子どもたちの得意とする分野や能力を活かした幅広い進路選択につながるよう努めていきます。



教育長

[対象者]  
年齢:1歳~6歳(就学前に限る)  
初めて西部療育センター診療所への相談を考えている垂水区・西区にお住いの子どもとその保護者

詳しい実施場所や相談日はこちら



▶ 決算特別委員会 第2分科会の様子





Topics 2

# 災害関連情報



今回の議会で取り上げたことをご紹介します。

山口

## 1 災害拠点病院と災害対応病院

### 【災害拠点病院】

- ◎ 災害医療センター・神戸赤十字病院… 中央区
- ★ 中央市民病院… 中央区
- ◇ 神大病院… 中央区

### 【災害対応病院】

- ① 甲南医療センター… 東灘区
- ② 川崎病院… 兵庫区
- ③ 済生会病院… 北区
- ④ 西市民病院… 長田区
- ⑤ 救済会病院… 垂水区
- ⑥ 西神戸医療センター… 西区

【未指定】 灘区・中央区・須磨区



西区は  
西神戸医療センター

災害時 傷病者の受け入れ・治療  
救護所に備蓄薬品・衛生資材等を提供  
DMATなど救護団体の受け入れ 等

医師会の先生方からのご提案により進んでいます。今後は災害対応病院が各区少なくとも1ヶ所指定され、区内の連携体制が取りやすくなります。



山口

## 2 応急給水拠点



### 凡例

- 🏠 災害時給水拠点
- 🏠 災害時給水拠点 (地域で応急給水器具自備の屋を保管)
- 💧 いつでもじゃくち
- 🗣️ ふっくすいせん



応急給水拠点について詳しくはこちら



拠点を活用した防災訓練をぜひお願いいたします!



山口

Topics 3

# 市民の方からのご意見・ご要望



- 1 公共施設への補助犬の同伴について 取り組み中
- 2 軽・中等度難聴児補聴器購入費助成の所得制限の緩和 取り組み中
- 3 いじめ予防プログラム モデル実施中
- 4 歩道のバリアフリー化 実施済み
- 5 空き家対策 取り組み中



# あさ い 浅井みか 通信

自由民主党 神戸市会議員団

vol.1  
灘区版

【発行】自由民主党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

新しい風で神戸を前へ！ [作成者] 神戸市会議員 灘区選出 1期目

浅井みか

## ●ご挨拶

この春、皆さまのおかげで市政への一歩を踏み出すことができました。着任してからは、神戸の街がどうしたら発展するのか、私たちの子供たちがいきいきと育ち、住み続けたいと思う、日本をリードする街になるには何が必要なのかを考え、今まで培ったビジネス感覚と頂くお声を基に、議会や委員会で発言し、改革を実現すべく行動しています。そして同時に、皆様から頂くお悩み事の解決に取り組んでいます。その一部を今回配信できればと思います。是非読んで頂けますと嬉しいです。

▶2023年5月  
外郭団体に関する  
特別委員会にて



## 浅井みか 5つの重点政策 “経済×子育て” 働く世帯人口を増やす！

- 1 全国No.1の子育て・出産支援の拡充
- 2 人生100年時代を見据えた街づくり
- 3 経済成長の回復・ビジネスのつながる街へ
- 4 王子動物園を魅力度No.1に！
- 5 全国のお手本となる防災の街・神戸

### 浅井の日々の議会・委員会での活動要旨

●…… 議会質問 ■…… 委員会にて

#### 1 全国No.1の子育て・出産支援の拡充

- 子育て、教育といえば神戸だと、選ばれる街になる戦略が重要
- 姉妹都市が多いという利点を活かした突出した公用語教育
- 学童のマンモス化の回避要望 **実現中**
- 小学校入学時等の手続きの簡素化 **来春実現**
- 小学校で気兼ねな放課後デイサービス等のチャレンジ
- おいしくて安全な給食の追求(国産/地元食材利用率UP、有機への挑戦)

#### 2 人生100年時代を見据えた街づくり

- すこやか保育/学童等にて加配の補助制度の充実や認定方法の見直し **実現中**
- バスの充実
- 元気なシニア世代が自身のスキルを活かしていきいきと働く場を増やす
- 障害を持った方の就労施設、介護施設の充実

#### 3 経済成長の回復・ビジネスのつながる街へ

- 神戸のブランド力の向上について
- 企業誘致施策
- 外郭団体におけるコスト意識の徹底
- 六甲山・摩耶山の活性化
- 大学生や地元と連携したスタートアップ支援

#### 4 王子動物園を魅力度No.1に！

- 黒字運営が可能なように、他との差別化がなされる動物園に
- 市民の要望を聞きつつ、正しい情報が市民へ伝わるように要望
- より多くの予算が動物園へ振り分けられるように要望 **実現します!**



#### 5 全国のお手本となる防災の街・神戸

- 最新のテクノロジーを駆使した時代に合った防災訓練の推進
- スマートシティの延長で、個々に応じた避難経路の開発推進 **開発中**
- 水道局と連携した災害につよい街づくりの推進



### 所属委員会

総務財政委員会  
外郭団体に関する特別委員会

◀2023年5月 本会議一般質問にて

総務財政委員会……神戸市政全体に関し審議します。

●外郭団体に関する特別委員会……神戸市が25%以上出資している団体に対して審査します。「審査」が指す事柄が曖昧なため、浅井が委員会で発言する際には、前職では当たり前だったビジネスレビューの視点<sup>※1</sup>を基に、出資/補助金を出す立場だったという観点で質問・提案をします。

※1) 事業紹介と財務諸表だけではなく、「なぜ」の深掘りをします。どうしたらその事業を根本的に伸ばすことができるのか、補助金から自立ができるのか。市民の税金を使った事業は民間企業以上に目的に対する結果/市民還元にかかわる必要があると考えます。(なぜ赤字/黒字なのか、優先順位/目標は何でそれぞれの状況がいいのか悪いのか、それはなぜなのか、いつ投資の回収見込みなのか、等の情報が揃うのが大前提です。)

あさ い 浅井みか

神戸市会議員 灘区選出

市政へのお声  
お聞かせください

〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1 28階  
自由民主党神戸市会議員団控室  
TEL.080-5818-4408 〆 mail@asaimika.com



HPも  
ご覧ください



# 5/25(木)本会議 一般質問について

質問に立つにあたり、市民の方々から寄せいただく声や、浅井の公約5つの柱に伴う神戸市の現状について当局の方々にお伺いし、意見交換させていただきました。また、神戸のビジョンと5か年計画について理解を深めると同時に近隣県市だけでなく横浜、福岡などの政令指定都市、東京や更にはNY、ロンドン、パリなど海外を含めた各種自治体のビジョンを読み込み、目標値を神戸市のものと比較し、初めての本会議質疑に挑みました。

議事録・録画配信は  
神戸市会ホームページ



神戸市会

検索

回答の○が思ったより多い印象でした！実現まで追いかけます。△×印項目は、今後も強く行政へ要望を続けます！

項目	質問・要望のポイント	回答	項目	質問・要望のポイント	回答
神戸へ 経済のつながる街	① 企業誘致、地元企業の活性化の観点から、神戸市として設定する目標値について、企業が自らの成長を期待できるような大きな目標値を打ち出してほしい。	○	子育て支援策について	① 子育て施策の目玉について 他市の事例が目立つ中、神戸で子育てをすれば将来世界基準で物事を考え、広く活躍できる人材に育つ土壌づくりができることをグローバル貢献都市である神戸ならではの目玉施策として、強く打ち出し、労働人口である子育て世帯から、子育て・教育といえば神戸だと、選ばれる街になるイメージ戦略を図って行くべきでそれに紐づく支援策が必要だと考えるが、いかがか。	○
	② 商店街の活性化は経済のつながる街・神戸の実現には不可欠。経済観光局にて、商店街や市場とスタートアップの連携を強化すべきと考えるがいかがか。	○		② 学童保育について 児童がストレスない環境で勉学に臨めるように今後は先手先手で、基準面積以上の確保や学童保育施設の整備を進めていくべき。	○
広報戦略について	① 「神戸ブランド」が弱くなっている。広報戦略部が主体となって、市内外に訴求したい神戸のイメージの柱を分野ごとに設定し、マーケティングの視点を用いて、有効な目標測定値/KPIを決定いただき、旗振り役としての役割を強化してほしい。	○		③ ハンディキャップのある児童へのすこやか保育について 加配の補助制度の拡充(知的重度の児童への配慮、補助金の割合の見直し)や、認定方法の見直し(親の同意を原則不要に)が必要と考える。	△ × △ 9月議会にて一部前進
パートナシップ 制度について	② 市の公式SNSで、商店街や、地域主体のイベントの告知をさせてほしい。	△ 区単位で		④ 小学校入学時の手続きの簡素化について 小学校の入学式の際に渡される必要書類が依然と多く、それを翌日までに提出しなくてはいけないなど、保護者や先生方の負担の軽減に向けて今年度中に改善をお願いしたい。	○
	① 前へ進めるにあたってのスケジュール感をお伺いしたい。 【要望】 導入にあたり制度の利用が他都市ではなせ少ないのか、困っている方々の声を把握分析し、市民福祉に資するよう、様々なバックグラウンドにより生活を共同して営む市民の方々や困っている市民の方々が必要な行政サービスを受容できるように制度の内容・名称をよく検討頂き、神戸市民にとってより良いものとして頂きたい。	○ 年内に整備する 新聞記事にもなりました		⑤ 小学校では担任教員や学年によって、持ち物に関する細かいルールや決まりごとがあるが、それらを市で統一化する動きを進めてほしい。	○
王子公園 再整備について	① 再整備にあたって、行政の行っている正しい情報が市民に伝わっていなかったり、子育て世代の声が届いていなかったりする傾向を聞く。計画に反映いただくとともに、スピード感を持った計画策定を願う。 【要望】 持続可能な目玉のある開放的な施設づくりを通じ黒字化を達成頂く。また誘致される大学との連携について、街との交流はもちろんのこと、例えば動物に関連する学部があるなど王子にある意義と特色を出して頂きたい。	○			

## 速報版

# 9月の決算特別委員会での浅井の要望 (抜粋)

NEW!

### こども家庭局

- ① ベビーシッター / 家事代行サービス希望者に対し、制限することなく0歳～3歳まで助成拡充。
  - ② 生活応援定期便 / 家庭訪問サービスの新設。
  - ③ ①②を神戸モデルとして一つの目玉に。
  - ④ 病児保育予約システムの利便性向上。
  - ⑤ 看護師と専門ルーム配置支援による病後児保育受け入れ促進。
- (全11項目から抜粋)

### 教育委員会

- ① 全児童/生徒に視野を広げる機会として、同世代海外姉妹都市校と定期的なオンラインクラスの実施。
- ② 教員の負担を増やさず、民間の手腕も取り入れつつ質の高い英語教育。
- ③ じぶん学習支援として、各種検定料の補助や大会参加費の補助。
- ④ 給食における兵庫県産魚の提供。 **今年度中に実施** (全7項目から抜粋)

## 国政への 陳情活動

こども家庭局

自見はなこ内閣府大臣政務官(現内閣府特命担当大臣)に陳情書を提出しました。

- ① 扶養控除の見直しに際しての提言(どの家庭にもプラスになる制度設計を)
- ② 各業種での産休育休専門の雇用枠推進
- ③ 出産費用負担軽減ならびに不妊治療先進医療、卵子凍結の保険適用の検討



教育関係

盛山正仁文部科学大臣に陳情書を提出しました。

- ① 英語教育の質向上に向けての提案
- ② 学校給食無償化に向けての国の支援
- ③ 学童保育での学習指導要領について、文科省でも作成支援検討依頼



## 課題解決!

# 市民の方々のお困りごと対応

(一部抜粋)



▲稗田地下道の様子

稗田学童のマンモス過密問題

解決! 特別予算を確保。地域の方々の後押しもあり、近隣施設、ならびに学校内の部屋を使い、分室設置。

稗田地下道の臭気問題

解消! 長年不明だった根本問題解明(近隣施設の雨水管と污水管のつけ違い)、配水管の老朽化の解消、防犯カメラ設置!

六甲登山口のみかんの木の伐採問題

伐採回避! 地域の方々のご尽力があり、市民花壇として生まれ変わることにになりました。

## その他神戸市の情報



こどもの居場所づくり

特性のあるお子さんをお持ちの保護者が話し合える場もあります。MAPをみてください。



神戸市LINE

どんどん充実していく予定です。



神戸市レシピ集

離乳食やアレルギー対応、フレイル予防など項目別に現在80程のレシピがあり、浅井もインスタで紹介しています。







神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団 市政報告

2023.12

No.51

# ゴミ問題の改善

**ごみステーションの掃除当番が負担だ**、との声を最近よく聞きます。特に自治会等の管理組織がないごみステーションでは、特定の住民が毎回掃除を行っているケースもあります。地域に小規模共同住宅が増え、1つのクリーンステーションに多くの世帯が殺到し、管理が困難になっている、という声も多く聞かれます。

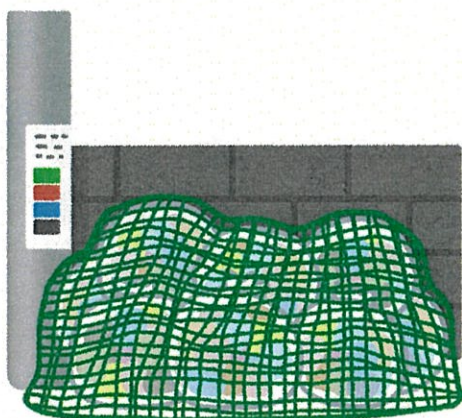
更には、ごみ出しルールの違反が多く、カラス被害の原因となったり、間違っ  
て出されたごみへの対応が負担になっている、自治会に入っていないとクリーンステーションを利用できない、クリーンステーションのネットが古くボロボロで、道路にはみ出して危ない、などの声も。

**家庭ごみの適正処理において、地域の理解と協力は不可欠**であり、特に自治会が果たしてきた役割は非常に大きいものがあります。しかし、社会状況の変化により、自治会をとりまく状況も変化しており、自治会のない地域ではごみステーションが荒れ放題になったり、利用を巡って裁判に発展したりした事例も国内にはあります。

こうした実態を受け、岡田ゆうじ議員から当局に対し、「**管理が崩壊したごみステーションが急激に増えていることを踏まえ、早急に神戸市において対策を検討すべきではないか**」と提案。

その結果、市においてクリーンステーションのあり方に関する検討会の報告が取りまとめられ、「**収集職員が清掃やネットの片付けを行う**」「**ごみステーションの全ごみ種対応を進める**」などの大きな改善の方向性が示されました。

全ての市民の皆さんが快適にごみステーションを利用できるよう、更に議会において議論を進めて参ります。



自治会等の地域組織の弱体化により  
管理が困難なごみステーションも増加



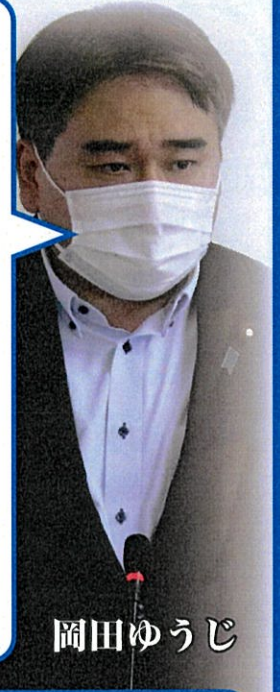
## ごみステーションの管理負担軽減について

○分科員 (岡田ゆうじ) **ごみステーションの相談をものすごくよく受ける。**  
今マンションの住民が増えてきているが、既存の自治会のごみステーションのたまたま隣に建ったマンションの人が、勝手に捨てにくる、と。掃除したりとかメンテナンスもしません。じゃあ、マンションだけで独自のステーションを設けてくださいといったときに、4階建てぐらいの小さなマンションだったら、そこだけでごみステーションを設置することもない。

**垂水では自治会すらない地域も多く、そうしたところのごみステーションは誰も面倒見ない。** だけど、ごみステーションの目の前に住んでいる方がやむなく掃除をしてるんです。

網は穴だらけ、ごみが散乱して、といった状態のステーションについて、最近よく御相談を受けるようになりました。私の肌感覚では全ごみステーションの中の5%ぐらい、20個に1個ぐらいはそういう「**管理が崩壊した**」一要は自治会もないから誰も面倒を見ることがない—ごみステーションになってきています。

検討を始めていかなくちやいけないのではないかと。御見解をお伺いしたい。



岡田ゆうじ

○福本環境局長 御指摘いただいたごみステーションの問題というのは**急激に今厳しいものになっています。** どうしても地域の皆さんの年齢が高くなってきてます。高くなってくると、自治会の役員にまずなれなくなる。そのうち自治会が解散してしまう。誰も面倒見る人がいなくなってしまいます。それ以外にコミュニティーが希薄化しているんで、**従来あったごみ当番制度というのが、本当に今崩壊しつつあります。**

これをどのようにしていくのがいいのかというのは、今、実は環境局においても**ごみステーションの在り方について検討会**のほうをやっております、実態調査なんかをしながら、今、進めているところでございます。

いずれにしても、ごみをどのように適正処理していくのか、しっかりと考えていきたい。



福本富夫  
環境局長

## 実現 ごみステーション管理の大幅改善

2024年4月(予定)より

### ●掃除当番の負担軽減

環境局の職員が収集の際にごみステーションの簡単な清掃とカラス対策ネットの片づけを実施

### ●家庭ごみステーションに全ごみを捨てられるように

燃えないごみ、缶・ビン・ペットボトルなども全てのステーションへ出せるように



神戸の住みよい環境・安全のまちづくりを守る！

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ 事務所 〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-18-20  
TEL: 090-9259-1555 / FAX: 078-330-2335

岡田ゆうじ  
ホームページ  
mail@okadayuji.net  
www.okadayuji.net





# うえなか 雅子

自民党 Lib Dems

まさこ

新たな年に！

## ごあいさつ

3期目初年度の当年は、「自由民主党神戸市会議員団 政調会長」として様々な会派勉強会を担当し、年2回の各種友好団体（34団体）との予算要望への意見交換会等も開催しています。また「外郭団体に関する特別委員会」では、委員長として32団体の審査の進行に努め、経済港湾委員会委員としても、神戸市の経済活性化に資する提言、提案をし、その実現を目指しているところです。

さらなる神戸市の飛躍に向けて、新たな年も精一杯の働きに努めてまいります。

神戸市会議員 うえなか 雅子



各種友好団体との意見交換会にて  
(令和5年10月5日)

## 外郭団体に関する特別委員会 行政調査報告 (令和5年11月16・17日)

### 岐阜県農畜産公社を訪問

11月16日午前11時半、岐阜県農畜産公社を訪れ、岐阜県の外郭団体である「ぎふアグリチャレンジ支援センターについて」の説明を受け、農福連携支援およびセンターの現状の取り組み、今後の課題について質疑をさせていただきました。

障害福祉サービス事業所約600箇所、農業経営体約100箇所のマッチングを行い、4年間で79件、令和5年もすでに39件を委託される実績を上げておられます。神戸の農福連携施策のさらなる推進や様々な課題解決に活かしてまいります。



委員長としてご挨拶

### 石川県庁を訪問

11月17日午前10時、石川県庁を訪れ、県の外郭団体である石川県観光連盟が官民一体となって取り組む観光振興の現状をお聞きし、質疑をさせていただきました。

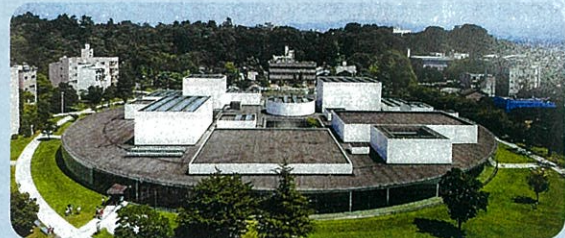
令和6年春には北陸新幹線の全線開通が予定されています。陸・海・空路を備えて、国内外からの広い集客が期待されており、総額100億円の「いしかわ文化観光推進ファンド」の運用金で高付加価値な文化観光コンテンツの県内各地での創出を目指し、さらに現在は、総額200億円の「ほっといしかわ観光プラン推進ファンド」の運用金を金沢の夜のイベントや日本橋のアンテナショップ等に活用されています。



### 金沢21世紀美術館にて

11月17日午後1時、金沢21世紀美術館を視察いたしました。

「地域、未来に開かれた美術館」ということで、公園のように誰でも気軽に入れる美術館です。金沢城公園や兼六園に隣接し、中心商業地にも近く、絶好の場所に立地していることから、兼六園に続く多くの来場者(令和4年は176万人)で賑わっています。ガラス張りの斬新なデザインもさることながら、美術館が観光に繋がり、周辺商店街とも繋がる、まちや市民と一体となった魅力的な美術館です。県市挙げての、文化と観光をつなぐ施策推進への意気込みを強く認識いたしました。



## 日台友好神戸市会議員連盟 台湾視察 (令和5年11月22日～25日)

令和5年11月22日～25日、台湾を訪問し、視察、意見交換、交流、調査を行ってまいりました。今回の台湾視察の大きな目的の一つは、神戸空港の国際化に向けて、外交部台湾日本関係協会の張仁公使、タイガーエア台湾本社の許致遠事務長、交通部祁文中常務次長(副大臣)との会談を行い、神戸空港への就航を要請することです。

コロナ後、日本から台湾への観光客は74%に戻っていますが、日本からの観光客は依然として台湾より韓国の方が多い。また、台湾から日本へは年間300万人が訪れていますが、日本から台湾へは58,700人のみとなっています。交通部副大臣は、「ぜひ、神戸空港～桃園空港の空路の実現で、観光客の増加やマーケット拡大をはかり、両国がウィンウィンの関係でありたい」と述べられました。

台湾のLCC航空会社のタイガーエア本社では、10月25日に神戸市を来訪された際、港湾局とも交渉をされ、積極的に就航に向けた取り組みを進められています。すでに、花巻・高松・高知・福岡・佐賀に就航していますが、神戸空港は国際化の条件が揃っており、都心に近い魅力的な空港であるとの評価をいただいております。



タイガーエア本社にて

桃園空港から台北へ向かう桃園メトロの車内では、神戸観光局・阪神電車・桃園メトロがコラボし、車内の液晶ディスプレイで神戸の魅力ある観光スポットをPRして

います。桃園メトロの車体は川崎車輛、システムは新明和工業です。

新竹県では、2008年開館の県史館と美術館を見学し、新竹の各種古地図の展示や、新竹の漫画家劉氏の日々の生活を描いた画を観賞後、楊文科知事・邱鏡淳前知事との会談を行いました。

基隆市の訪問では、童議長と基隆議会棟にて会談を行い、さらなる両国の交流と発展のため、36万人が住む港町基隆市との姉妹都市や、友好都市の実現を提案いただきました。

最終日には、夜市を視察し、その賑わいを体験しました。神戸でも、試験的に元町商店街で閉店時間を延長することや、キッチンカーを導入するなど、賑わいを積極的に推進するべきと痛感しました。



桃園メトロにて



新竹県の県史館と美術館を視察



基隆議会棟エントランスにて



## 1 クリーンステーションについて

### 質問 植中雅子

自治会に加入している住民とそうでない住民の間で、クリーンステーションの利用をめぐる争いが生じている地域があることは環境局も御存じであると思う。地域でこのような争いが次々起こっていくことは、避けなくてはならない。環境局における課題認識及び今後の対応策をどのように考えておられるのか。



### 答弁 柏木環境局長

クリーンステーションの管理を自治会活動に位置づけている自治会と非自治会の方、あるいは自治会員と非自治会員の方との間で利用をめぐる争いがあるということは承知している。市からは自治会に対し、非自治会員であっても利用者として相応の負担を負っていただくという方法で対応できないか、という助言を行った結果、利用者相互の話し合いで解決に至るケースが多い。ただ一部で、それでは解決せず訴訟に至ったという事例がある。自治会員であるか否かにかかわらず、利用者が等しくクリーンステーションに関する負担を担いながら使用できる方策を、地域協働局や区役所など、関連部局と連携しながら検討を進めていきたい。

### 再質問 植中雅子

相応の負担とは、1年間の使用料を負担していただくということか。

### 答弁 柏木環境局長

自治会には加入していないが、ステーション管理の清掃に係る相当分を徴収している事例がある。

### 再質問 植中雅子

クリーンステーションを相応分の負担もせず使用することを、地域の皆さんが認めてくださるのか。その方の生ごみ回収のために、環境局でそれぞれ個々に対応が必要となり、非常に煩雑な手間がかかることになる。ある程度のルールや決まりをつくるのが大事だと考えるがいかがか。

### 答弁 柏木環境局長

どのようなルールを設定できるのか、引き続き検討していきたい。

### 再質問 植中雅子

高齢の方、病気の方、障がい者の方など、自治会に入っているがクリーンステーションの掃除ができない方には、自治会が特別に「結構です」と言って下さっていると思う。簡単な清掃作業であれば回収時に、水を留意して流すとか、ネットを畳んでそのままプラスチック容器に入れるとかを環境局でできるだけ手助けはできないか。

### 答弁 柏木環境局長

現在、高齢化や地域への帰属意識の希薄化もあり、クリーンステーションをめぐる課題が顕在化してきている。クリーンステーションの在り方については、現在検討しているが、職員がどこまで、というレベルもあると思うので、少しでも地域の方に負担が軽くなったと感じていただけるようにいろいろ検討し、近く中間取りまとめという形で公表をさせていただきたい。

### 再質問 植中雅子

60歳から74歳の就職希望者のうち53.7%が仕事を探しても見つからない。人手不足が深刻化する中で、働きたい高齢者の方の就労に繋げていくべきではないか。例えばシルバー人材センター等で、清掃の負担を外部委託にできるような支援を地域に対して行うことも有効かと思うがいかがか。

### 答弁 柏木環境局長

高齢化に伴う掃除当番の負担感から、クリーンステーションの清掃をシルバー人材センターに委託されている地域もある。ただ、神戸市で財政的な支援を考えると、市内には2万4,000か所のクリーンステーションがあり、財源の課題が大きな問題になってくる。

### 要望 植中雅子

神戸市で全部は無理なので、自治体がされているところに補助金を出すというようなことも検討いただきたい。

## 2 食品ロス削減について

### 質問 植中雅子

令和5年4月21日、環境温暖化対策調査会「食品ロス削減プロジェクトチーム」が、「食品の寄附や外食等の持ち帰りが当たり前の社会に向けて」という提言を岸田総理に手渡された。家庭における食品ロスの削減については、必要な分だけ

買う)〈食べ切れる量を作る〉〈おいしく食べ切る〉ことを私自身も心がけている。冷蔵庫内の写真を撮って見える化することも、食品ロス削減の第一歩となるため周知に努めていただきたい。

すでに各家庭でも生ゴミの水切りや、コンポストの設置に取り組んできた。環境局が進めているフードドライブなどの取り組み強化のほかに、外食時の持ち帰りは、保健所の基準、お店の事情、健康局の所管が関係あると思うが、それが当たり前になれば、食品ロスが減っていくのではないかと。飲食店でも、ボリュームの少ないものを提供できるようにするとか、自分が食べきれないものを注文するとか、お互いが少しずつ寄り添っていかなければ、このロスはなくなるのではないかと。

日本では、年間523万トンの食品が廃棄され、国民1人当たり1日約114グラム、お茶碗1杯分の御飯が捨てられている計算になる。日本の食品ロスを約100万トン削減することで、CO<sub>2</sub>の排出量を約46万トン抑えることができる。

環境局では、市民一人が食品を無駄なく大切に食べるような、地球規模の課題解決につなげるということを一層周知していただきたい。

### 答弁 横山環境局副局長

外食の持ち帰りは、衛生上の問題もあり、一定の整理は必要である。

何ができるか、今後外食時も含めたあらゆる場面で食品ロスを意識していただけるように啓発に努めていきたい。

## 3 再生可能エネルギーの拡大について

### 質問 植中雅子

環境局では、市民が太陽光パネル、蓄電池を安心・安全に設置できるようサポートする共同購入事業を行っており、各家庭における再生可能エネルギーの導入促進に向け取り組んでいる。この施策によって、各家庭における普及を進めることができれば、まさに地産地消の取り組みとして、これ以上なく効率のよいものだと思う。しかし、この共同購入事業については、近隣市町との連携によるスケールメリットを追求するなど、工夫が行われてきているものの、令和4年度の市内契約締結数は僅か23件で、今後の契約締結数の増加に向けて改善すべき内容を整理し、実施事業者と一層の取り組みをしてもらいたいと考えるがいかがか。

### 答弁 藤井環境局副局長

共同購入者を募ることは、一連のコストを削減したり、初めて太陽光パネルの購入を検討される市民の方々も安心して導入できるという、効率のよい仕組みである。令和5年度については、募集期間を4月上旬に前倒しして、施工業者・事業者の調査期間に余裕を持たせるよう改善を図ってきた。

契約に繋がらなかった理由として最も多かったのが価格面だった。本事業の太陽光パネルの入札価格は、一般で個別契約されるより安くはなっているが、令和3年度で91万円、令和4年度で98万円と上昇している。一方で、電気料金も全国的に上昇傾向にあり、太陽光発電設備の導入については、世界的なエネルギーの動向、地産地消による脱炭素の取り組みの重要性、電力会社から購入する電気と自家発電による電気の値差、これらなどを設備導入の価格だけではなく、様々な角度からメリットを示していく視点が必要である。

### 要望 植中雅子

現在15年未満で収支が取れる場合はお勧めし、15年以上の場合はお勧めしないという形になっている。物価高騰の最中ではあるが、10年で採算が取れるような、収支の予定表やスケジュールを提示することが大事である。

## 4 喫煙所の設置について

### 質問 植中雅子

神戸市では、路上喫煙、ポイ捨て防止の取り組みとして、巡回指導や過料の徴収などにより喫煙マナーの徹底を図っているが、コロナ禍が収束するにつれて路上喫煙が以前よりも多く見られる。



三宮エリアにおいては、市が設置している喫煙所は東遊園地のみで、駅の近辺にないため、それが原因で路上喫煙が駅周辺で見られるのではないかと。そろそろ巡回指導などの啓発だけでは限界があると考え。受動喫煙を防止できない公道の喫煙所や、景観上問題のある喫煙所を容易に設置することは、慎むべきであるが、周辺の合意形成を得られる場所の確保も含め、喫煙所設置に向けた工夫に知恵を絞っていただきたい。

### 答弁 柏木環境局長

今後も引き続き民間事業者の協力を得ながら工夫し、知恵も絞っていきたい。

## 日独友好神戸市会議員連盟会長として

令和5年9月28日午後4時、ドイツザールラント州のアンケ・レーリンガー首相やメラニー・ザクシンガー大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事が、市長を表敬訪問され、私は日独友好神戸市会議員連盟会長として、久元神戸市長、坊市会議長と共に皆様をお迎えしました。

神戸市の水素、日本のエネルギーミックスが話題となりました。29日午後4時15分には、戸田在ハンブルグ日本国総領事が着任のご挨拶に来られ、今西副市長と河南市会副議長と共にお迎えしました。

引き続き、経済、環境、エネルギー、医療産業等々、様々な分野で連携させていただきます。



## 各種友好団体との予算要望懇談会

令和5年10月5日午前10時から、自由民主党神戸市会議員団が2部屋に別れて、兵庫県看護連盟、兵庫県看護協会、神戸商工会議所、兵庫県タクシー協会等16団体との意見交換会を行い、10月19日にも午前10時から、神戸旅客船協会、専修学校各種学校連合会、私立幼稚園協会、理学療法士会等17団体と意見交換会を行いました。

私は政調会長として、限られた時間を有意義に遣っていただくための進行に努めました。

ご要望の実現に向けて、議員団一丸となって取り組んでまいります。





## 1 公園リニューアルについて

### 公園トイレチェンジアクション

#### 【質問】 植中雅子

建設局では、トイレのバリアフリー化を進めておられるが、一般の市民の方からは、公園のトイレが汚いから何とかしてほしいという声を今もよく聞く。トイレは観光地の価値を高める重要なインフラであるが、現在のトイレチェンジアクションの整備状況についてはどうか。

#### 【答弁】 小松建設局長

市内150公園のうち70公園で整備が完了している。平成30年度以降、トイレ274棟のうち19棟の建て替えと136棟の美装化など部分改修や洋式化を行った。トイレの洋式化率は約75%になっており、国で掲げている目標値の70%を一応達成している。



#### 【再質問】 植中雅子

設置されてから築40年以上で建て替えが必要なものは全体改築、築20年以上で美装化が必要なものは部分改修ということだが、築年数が20年、30年と経過していないのに傷みが激しいものもある。例えば北区の君影台公園のトイレは、本年の整備予定には入ってなかったが、北建設事務所にお願ひし、便器だけ替えていただいた。全体的に汚いので、建屋も含めて全体改築をしていただきたい。

整備基準を定めて、計画的に実施していくことは確かに必要だと思うが、施設ごとの損傷具合は把握していく必要がある。市民からの声をどのようにキャッチし、聞いていくかが大事ではないか。どのように進めていくのかお伺いしたい。

#### 【答弁】 奥野建設局公園部長

ご指摘のとおり、一律に築年数だけでは基準に合わない、実態に合わないケースもある。北区の君影台公園については、現在、バリアフリー化も含めて、トイレの抜本的な改善に向けて全体改築を計画している。

#### 【要望】 植中雅子

令和5年から7年で56棟を改修されるということなので、神戸市内の全ての公園がきれいになるよう、スピーディーな対策をお願いします。

### 健康遊具の設置

#### 【質問】 植中雅子

公園は高齢者世代も訪れる機会も多い。北区の日の峰公園で健康遊具の設置要望をした際に、面積要件が合わないと断られた。健康遊具・器具などの設置を進めることは、地域のコミュニケーションの場を創出する意味でも非常に大切である。当局のご見解をお伺いしたい。

#### 【答弁】 奥野建設局公園部長

平成27年度から、背伸ばしや腹筋ができるベンチタイプの健康遊具を設置する「健康ベンチ事業」を進めている。これまで466公園で合計1,470基を設置した。北区の日の峰公園は、比較的小規模な街区公園で、健康遊具の設置により、中公園の広場利用が制限される可能性がある。公園の利用状況や地域の皆様の声を聞き、周辺の公園の施設配置状況を考慮しながら、設置を進めていきたい。子育て世代、子供たち、高齢者、様々な市民が公園の利用に親しみ、利用していただけるように見直し、整備を進めていきたい。

#### 【要望】 植中雅子

健康遊具にもいろんな種類、大きさもあり、面積に合うような遊具を置いていただくことは可能だと思う。市民の方が要望される公園については、ぜひとも前向きに取り組んでいただきたい。

## 2 道路整備について

### 神戸三田線都市計画道路

#### 【質問】 植中雅子

神戸三田線の都市計画道路については、有馬口トンネルをはじめ、段階的に整備を進められているが、現在の整備状況と課題、今後の予定についてお伺いしたい。

#### 【答弁】 小松建設局長

渋滞や異常気象時の通行止め等の課題があることから、各工区において拡幅整備等を順次実施している。まず皆森交差点から谷上区間において、順次3車線化の工事を現在行っている。大池工区の1.4キロは令和5年5月末に事業が完了した。隣接する唐櫃工区の0.5キロ区間は、現在詳細設計や用地買収を実施中である。有馬口工区1.5キロについては、令和4年3月に有馬口トンネルが開通し、12月にトンネル前後の区間を整備し供用している。上唐櫃橋以東の現道の歩行者安全対策についても、引き続き検討している。有馬口から五社までの1キロは、地形的な制約等から都市計画道路で現道を拡幅することが非常に課題があるが、都市計画変更を視野に入れて検討を進めている。

異常気象時の通行規制解除を見据えて、斜面对策の検討も行い、取り組んでいきたい。一番北部の国道176号線との合流部の日下部地区は、年度末には供用開始ができる予定だ。

#### 【再質問】 植中雅子

皆森と谷上間においては、以前より渋滞対策に取り組んでいるが、現状と今後の予定をお伺いしたい。また、皆森交差点に入ってくる東行きの車線が、左折専用から直左車線に変更されるということだが、安全性の確保はどうなっているのか。

#### 【答弁】 清水建設局道路計画課長

皆森-谷上間の東行き2車線化後の効果検証を行い、詳細な交通状況の把握に努めていきたい。今回の車線運用の変更について、交通管理者である県警とも協議を完了し、ドライバーに混乱を生じさせないように、事前に車線運用の変更をしっかりと知らせる啓発看板を設置するなど、十分な周知に努めたい。

### 阪神高速北神戸線

#### 【質問】 植中雅子

阪神高速北神戸線の料金割引の社会実験を行っているが、効果検証は行われるのかお伺いしたい。

#### 【答弁】 原建設局副局長

神戸三田線の渋滞対策の一つで、並行する阪神高速の北神戸線の料金を割引引くことにより、神戸三田線の交通転換を促し、渋滞緩和が図れないかという実験である。様々なデータを取得、活用し、現状の交通量、渋滞長、走行速度、所要時間といったものを分析していきたい。

#### 【再質問】 植中雅子

実験では、東向きでは「藍那ランプ」、西向きでは「からと西ランプ」から阪神高速を利用する形で行っているが、からと西ランプは入口が非常に分かりにくく、「五社ランプ」から乗り入れができるようにするなどの検討が必要だと思うがいかがか。

#### 【答弁】 原建設局副局長

本社会実験は、神戸三田線の特に激しい渋滞となっている谷上駅周辺から皆森の辺りを中心とする渋滞緩和を目的として行っている。今年度はその渋滞区間の端と端、1つ手前ということで「からと西」と「藍那」の間を対象としている。

ただ、三田方面からでは利便性が高く、利用者も多い、アクセスもよいということで、五社ランプへのエリア拡大も可能性があるので検討の対象としていきたい。

#### 【要望】 植中雅子

夕方5時頃から7時頃まで、五社ランプから箕谷ランプまでの間の料金割引の社会実験も追加していただきたいと要望する。



## 3 柏尾台からの提案について

#### 【質問】 植中雅子

令和2年7月に柏尾台において、市長タウンミーティングも実施され、柏尾台からの提案として、丹生山田地区の活性化の提案を受けたと聞いている。その後、柏尾台住民の方と提案内容を踏まえ、どのような取り組みを進めておられるのかお伺いしたい。

#### 【答弁】 小松建設局長

建設局関係では、地区の北側に位置する柏尾の森の整備改善の提案を受けている。エリアの拡張及び助成金の増額を行い、地域の皆様と現地状況を確認し、市民の森の案内看板等を設置させていただいた。柏尾台地区については、コミュニティバスなどの新たな提案も出て、山田出張所など関係部局とも情報を共有しながら連携して取り組んでいきたい。

## 4 神出山田自転車道について

#### 【質問】 植中雅子

神出山田自転車道は、市内外の多くの方々に知っていただき、また楽しんでいただくために、令和2年9月より、シェアサイクルを実施している。できるだけ多くの方に利用していただくには、豊かな自然や文化遺産を活かし、地域と協力した集客に取り組むことが必要だが、建設局だけで取り組むことには限界があると思う。以前から何度も要望しているが、自然休養村跡地を利用して、経済観光局や区役所と連携して地域雇用の創出や交流につなげていただきたい。

#### 【答弁】 小松建設局長

建設局自身で神出山田自転車道だけの活性化はなかなか難しいので、地域や関係部局が実施する様々な取組と相乗効果を発揮するように努めていきたい。

**実現しました** 令和6年5月に、トイレ・シャワー完備の「休憩キャビン」が設置されることになりました。

### マイクロソフト・ラボの視察

令和5年10月17日午後2時、経済港湾委員会にて、マイクロソフト・ラボの視察をしました。

世界で5ヶ所(レドモンド、ミュンヘン、上海、ウルグアイ、サンフランシスコ)が設置され、6ヶ所目が日本初の拠点として神戸商工貿易センタービル内に開設されました。企業利用のみならず、大学・教育機関等との連携により、AIを活用した研究開発の推進やエンジニア人材育成等が期待されます。

私は2017年7月29日に、米国マイクロソフト社を訪れたこともあり、神戸への開設は本当に嬉しい限りです。





## 危機管理室

### ① 女性視点を取り入れた避難所運営について

【質問】 植中雅子

避難所の運営に関しては、東日本大震災をはじめとするこれまでの災害において、女性に対する配慮に課題があったと聞いている。令和2年5月に、内閣府において、「災害対応力を強化する女性の視点」、「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」が策定された。本市でも、災害時の避難所における女性の二次被害を防ぐための、避難所リーダーへの女性の配置や男女のニーズの違いに配慮した避難所運営などの取り組みを進めていくべきと考えがいかがか。



【答弁】 筒井危機管理監

令和4年4月から防災福祉コミュニティの代表者会議において、避難所における男女共同参画の視点の必要性の周知を図っている。避難所のリーダーに女性と男性の両方を配置し、避難者への物資配布や、避難所運営の意思決定の場に女性も参画できるように促している。令和5年度からは区の総合防災訓練のメニューに、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営も追加している。DV被害や性被害の防止については、令和3年11月に、警備事業者と協定を締結し、避難所での警備員による巡回警備の実施体制を構築している。

令和4年3月には、男女共同参画の視点を取り入れた、避難所運営の実施に向けた市民向けのインターネットアンケートを実施し、結果を備蓄物資の市担当である経済観光局とも共有しており、避難所での現物の備蓄とともに流通備蓄の活用にも努めるなど、女性視点を取り入れた避難所運営に努めていきたい。

### ② 女性視点を取り入れた災害対応力の強化について

【質問】 植中雅子

内閣府のガイドラインでは、地域防災計画を作成する自治体の防災会議の女性委員の比率が高いほど、女性の用品、あるいは乳幼児用品、高齢者用品等を常時備蓄する比率が高いとの調査を報告している。防災・危機管理担当部局の職員の男女比は、少なくとも庁内全体の職員の男女比率に近づける必要がある。災害対応の現場で多くの女性が活躍されたが、防災や復興に係る意思決定の場で女性の参画率が低いことは問題である。女性委員の比率をどのように高めていくのか。危機管理室の女性職員の割合についても、庁内全体の職員の男女比率に近づけていくべきであると思うが、併せてお伺いしたい。

【答弁】 筒井危機管理監

神戸市防災会議の女性委員の割合は、13.6%と低い。我々の附属機関及び有識者会議に関する指針における女性委員の割合の目標40%に遠く及ばない状況である。女性の学識経験者の登用、災害対応に深く関わる職種における女性の登用、女性の適任者を推薦いただくよう、各団体へ依頼する取り組みが考えられている。また危機管理室における女性職員の割合は17.1%となっている。庁内全体における女性職員の割合は、令和5年4月1日時点で35.8%となっており、危機管理室の女性職員の割合は全体の半分程度という状況である。女性職員の割合を庁内全体の割合に近づけるよう、抜本的に考え方を考えていかなければならない。

【要望】 植中雅子

令和5年5月に内閣府が取りまとめた防災分野における女性の参画促進の好事例集がある。兵庫県は明石市が入っており、防災会議内にジェンダーと防災に係る専門委員会を設置された。山形県酒田市の事例では、女性防災リーダーの育成をされている。神戸市でも、さらに人材を発掘し、女性の指導者を育てていただきたい。

### ③ 谷上地区、花山地区における避難所の設置について

【質問】 植中雅子

北区の花山地区、谷上地区における避難所は、花山小学校、山田中学校などがあるが、対象エリアが広く、住居から避難するまでの距離が遠く高低差が激しいことから、高齢者は災害時に避難することが困難になっている。令和4年10月の一般質問においても、旧谷上幼稚園を土砂災害時の緊急避難場所及び避難所として位置づけができるよう早急に検討していきたいという答弁をいただいた。花山地区について、真星病院の別棟の新設に伴う緊急避難場所の指定に関して、地域から強い要望や、花山地区の地理的な特殊性も踏まえて、地域住民が安心して避難できるように、今後、真星病院並びに関係機関と十分協議していきたいとの答弁があったが、あわせて現在の状況はどうなっているのか。

【答弁】 上山危機管理室長

真星病院の別棟新築に伴う避難場所の確保について、北区と真星病院で協議を続けている。地域の安全確保に向けて、引き続き地域団体と病院との協議を重ねていきたい。

【要望】 植中雅子

今まで私立の病院とそういった連携をしたことがない、前例がないとのことだったが、前例をつくっていきましょう。行政も、市民も、そして病院も、共に協力し、前へ進めていただくようお願いする。

## 消防局

### ① 道路の狭隘地区の消火体制について

【質問】 植中雅子

北区の谷上地区で建物火災が発生した際に、道路狭隘で消防車が出火建物の近くに到着せず、遠くの消火栓から何本もホースを延長して消火活動に苦勞されていた。神戸市内には、山麓地区や建物が密集した地区において、道路狭隘により消防車が進入できない地域が多数あると思われるが、そういった地域の災害をいち早く収めるためにどのような対策を講じておられるのか。

【答弁】 栗岡消防局長

各消防車でこの道路が通れないかは、瞬時に分かるようモニターできるようにしている。事前の確認に加えて、消防車両についても、小型の消防車や、屋根が低い、くぐれるような車両を整備している。資機材についても、事前に結合しておいたホースを、リヤカーのようなものにたくさん積載している「ホースカー」や、職員がリュックサックのように背負うところに同じようにホースを積んだり、脇に抱えるショルダーバッグのような形でホースを延ばす「ホースバッグ」など、いろんな資機材を積載して、迅速に消火できるようにしている。木造の住宅が密集しているところや急傾斜地については、「消火用ボックス」を設置し、初期の消火に活用いただくよう取り組んでいる。

【再質問】 植中雅子

放火に対してどのような対策を取っておられるのか。

【答弁】 馬場消防局予防部長

令和4年中の放火または放火の疑いが、77件発生している。全火災に占める割合の約2割となっている。予防対策としては、燃えやすいものを放置しない、死角となる場所に燃えやすいものを置かない、家の周りを明るくすることが大切と思う。地域の住民と連携を図り、放火されない環境づくりに努めていきたい。

【再質問】 植中雅子

狭隘道路に設置されている消火用ボックス維持管理はどのようにしているのか。

【答弁】 濱田消防局警防部長

消火用ボックスは、神戸市内に144基設置している。職員が補修のための調査を実施しており、随時補修するなどの対応を取っている。令和5年度中は10か所を更新する予定で、令和6年度には全てが更新を終了する予定である。

【要望】 植中雅子

消防車両が進入できない地区で火災が発生した場合、新たな技術を使った消火戦術も考えていくべきだと思う。今後、上空から消火剤を散布するようなドローンも考えていくべきだと思う。全国に先駆けて、こういう導入も検討していただきたいと要望する。

### ② 防災ジュニアの育成について

【質問】 植中雅子

若い世代が防災に関心を持ってもらうため、次世代の地域防災の担い手の育成に向けて、「防災ジュニアチーム」の活動を推進していただける。消防局として、防災ジュニアの育成をどのようにして推進していただけるのか。



【答弁】 栗岡消防局長

防災ジュニアチームは、現在24チームが市内で活躍しており、全ての区で結成されている。今後のさらなる支援については、専門家を地域にも派遣し、防災ジュニアチームの活動支援や、育成マニュアルを活用し、より若い人の防災力が高まるよう、支援を進めていきたい。

【再質問】 植中雅子

以前、「少年消防クラブ」の全国大会などのイベントを神戸市に誘致していただきたいと、本会議で要望させていただいたが、県が主導なのでできるかどうか分からないということだが、見通しはどうか。

【答弁】 栗岡消防局長

「少年消防クラブ」の全国大会は、県と連携して兵庫県に誘致、兵庫県でやる場合には神戸市でできるように、緊密に連携して取り組んでいる。

### ③ 防災福祉コミュニティの訓練について

【要望】 植中雅子

地域防災の中心を担っている防災福祉コミュニティの訓練については、反復して訓練することも大事だが、参加者が興味を引くような訓練メニューを導入し、防災に関心を持ってもらうことも大事である。消防局が中心となり、新しい取り組みを進めていただきたい。また、消防局では、市民研修用に土砂災害を疑似体験できるVRゴーグルを導入していると聞いている。こういった資機材をもっと防災福祉コミュニティの訓練にも活用して、1人でも多くの方に土砂災害の恐ろしさを体験していただくことが防災・減災に繋がっていくと思う。